

# 学校だより

小豆沢学びのエリア

(志村二小・志村四小・志村二中)

令和8年2月9日

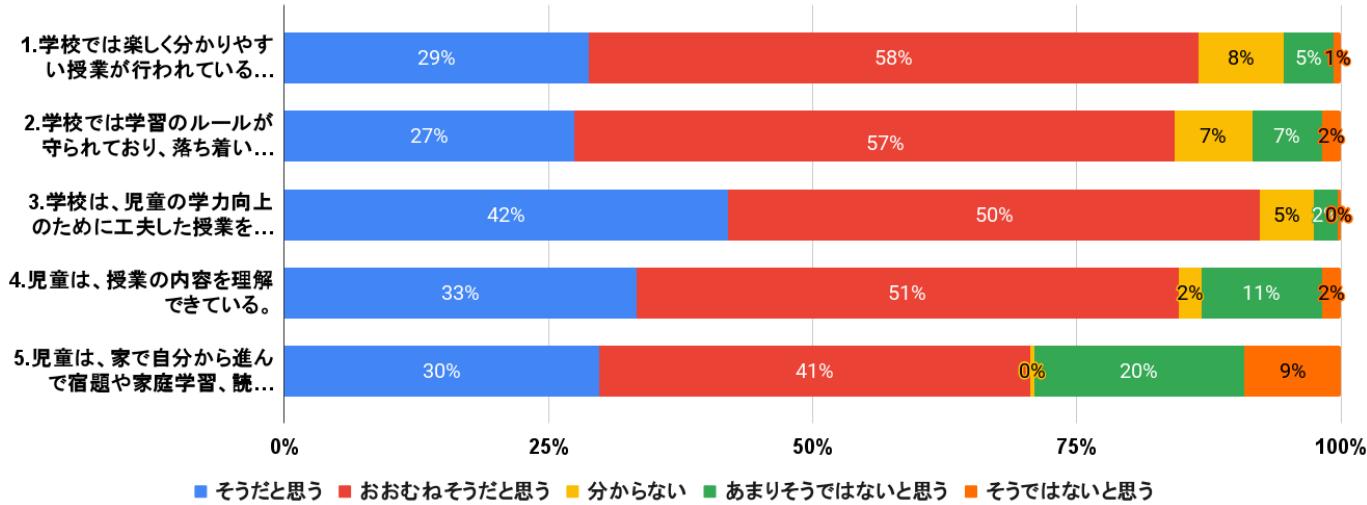
板橋区立志村第二小学校

## 令和7年度 学校評価 児童・保護者アンケート結果

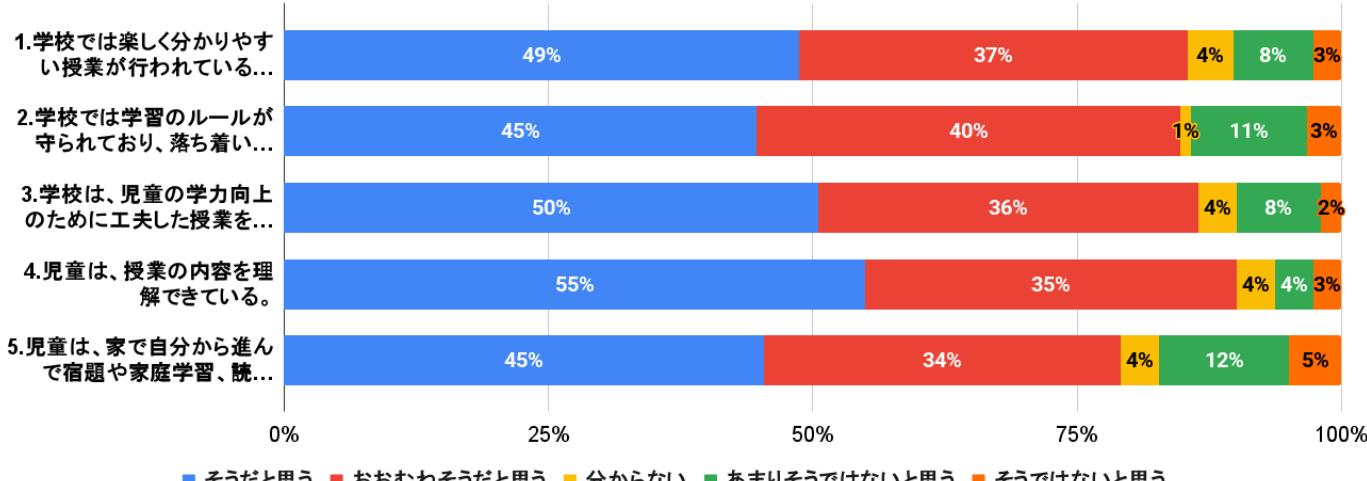
昨年末、学校評価についてご協力いただき、ありがとうございました。各項目についての保護者・児童それぞれの結果について、昨年度と比較しました。この結果について、iCS 委員会（2月 6 日実施）においてもご意見をいただき、次年度の教育計画に生かしてまいります。

### 1 学習について

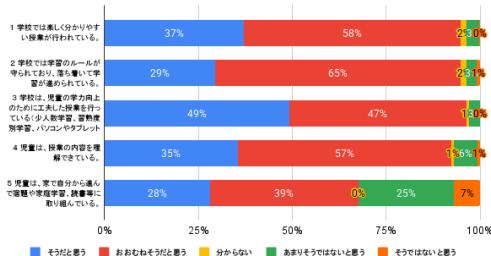
#### 令和7年度 保護者【学習について】



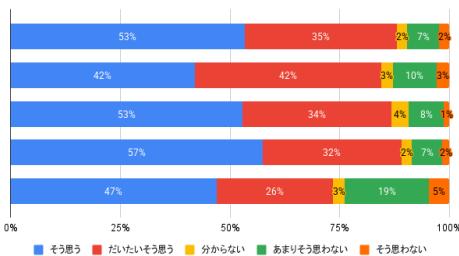
#### 令和7年度 児童【学習について】



#### 令和6年度 保護者【学習について】



#### 令和6年度 児童【学習について】



## 【結果】

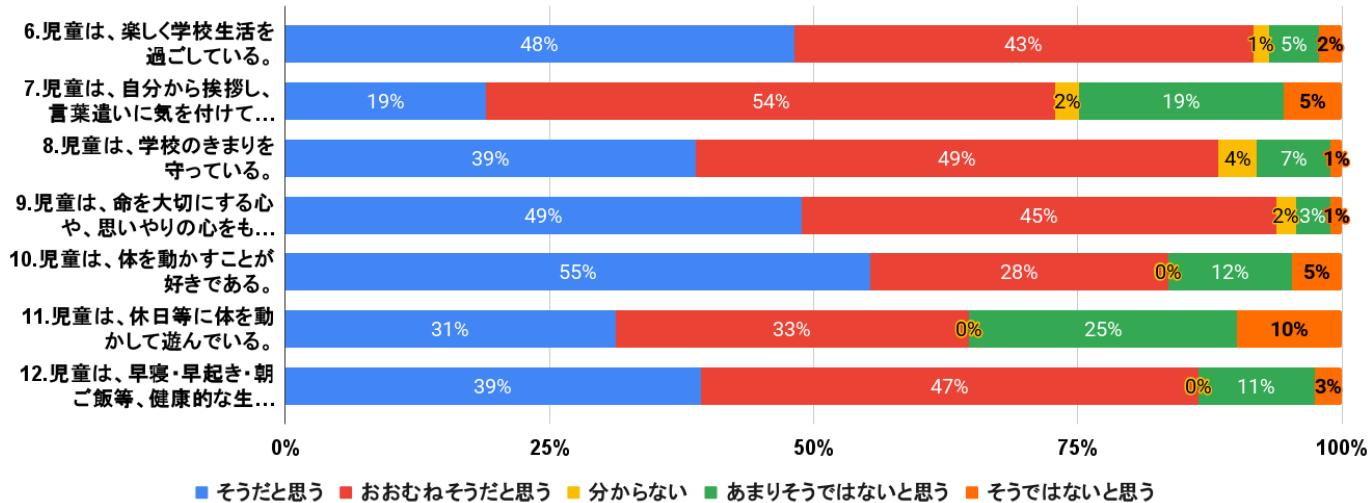
- 「授業の内容が分かりやすい」や「授業の内容を理解できている」の項目は、肯定的な回答が保護者・児童ともに多く、約90%の達成率だった。楽しく、工夫された授業が行われていると感じる児童は減っているといえる。
- 「家庭で自ら進んで宿題や家庭学習、読書に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答した児童が増加している。

## 【考察】

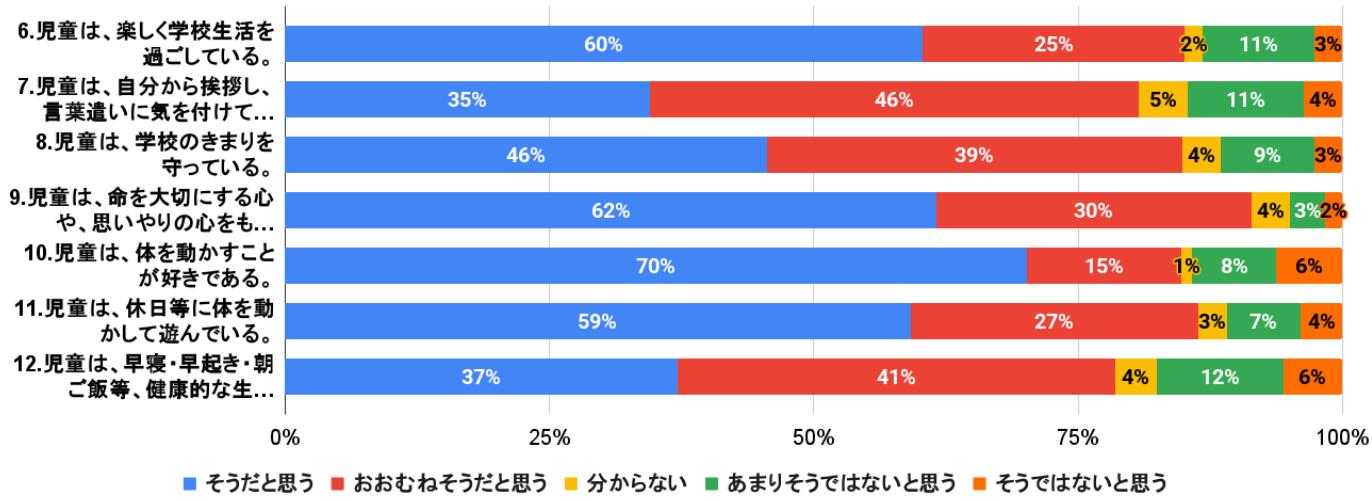
- 児童にとって、楽しい授業とは「学習内容が分かる授業」であること、「学習したいと意欲がわく問題の提示」等であることを踏まえ、授業改善に臨む必要がある。楽しい授業を創造するための教材研究や資料づくり等のために、各学年の授業時数を減らす方向で見直し、授業の質を向上させていく。
- 本校で取り組んでいる「自己調整学習」(児童が、自分なりに学習計画をたて、教員は児童に対して教えるのではなく、その学習課題に対して伴走する形に近い学習形態)がすすんできている様子が、家庭学習での取り組みにも表れてきているのではないかと推察する。

## 2 生活について

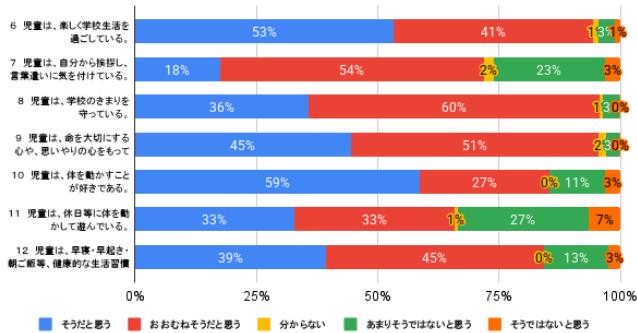
### 令和7年度 保護者【生活について】



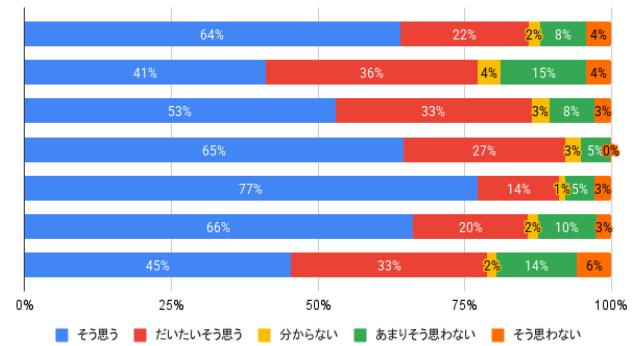
### 令和7年度 児童【生活について】



## 令和6年度 保護者【生活について】



## 令和6年度 児童【生活について】



## 【結果】

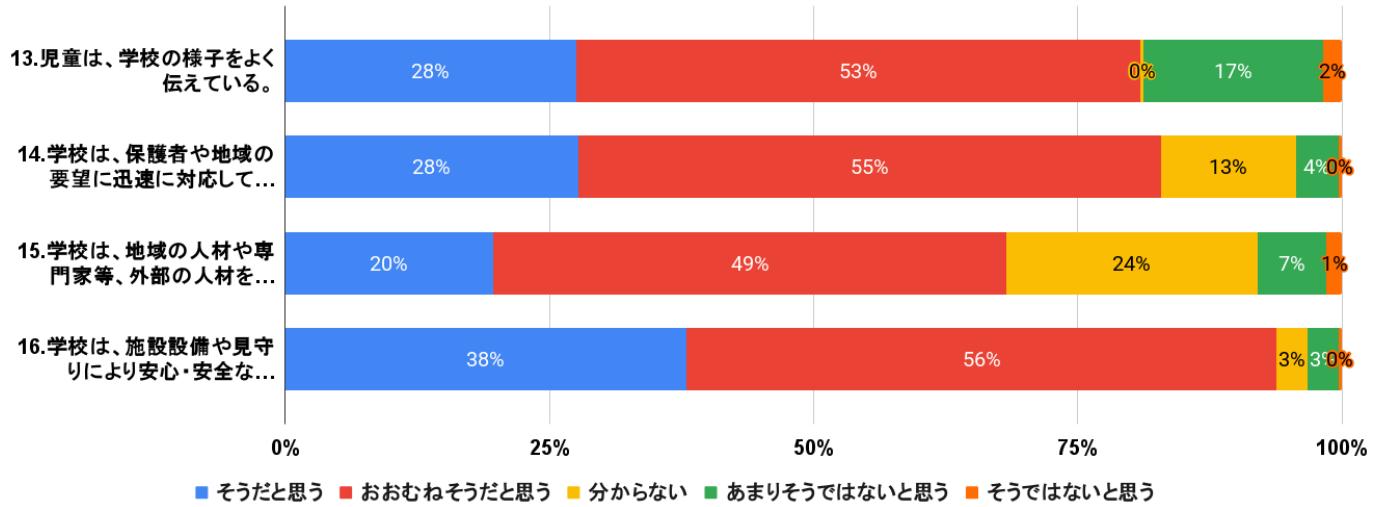
- 児童の「そう思う」は、どの項目においても全体的に減少している。
- 前年度と同様に、体を動かしている児童は多いといえる。
- 「自らあいさつしたり、言葉遣いに気を付けたりする」については、他の項目と比べると課題がある。これは前年度でも同様の結果になっていた。特に、保護者の「そう思う」は児童の「そう思う」と比べると大きな開きがある。

## 【考察】

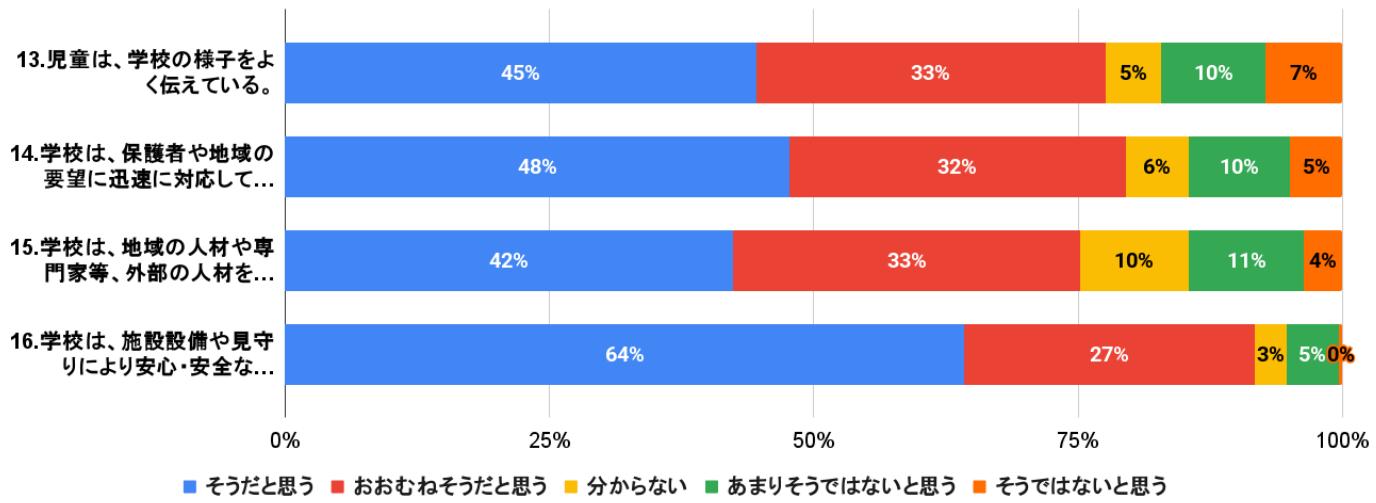
- 志村第二小では、8年前から年間を通して『あいさつ』を広めるための活動を行っている。昨年度からは「あいさつのレベル7」としてあいさつのポイントを示し、自分自身のあいさつのレベルを、月に1度、振り返ってきた。しかし、まだ全校的に「いつでも、どこでも、その場に応じてあいさつすること」が達成できているとは言えない。また、教職員や友達にはあいさつができていても、保護者や地域の方たちにあいさつすることができていないという、校内だけにとどまっている現状が推察できる。
- 昨今の記録的な暑さ対策のため、ウォーターサーバーを数台、校内に設置する。このことにより、冷たい水を飲んだり、水筒に注水したりすることができるようになる。
- 第1学年に、4月から3か月間、一日4時間の「小1 サポーター」1名が、板橋区から有償ボランティアとして配置される。
- 本校配置のスクールカウンセラーが2名体制と、曜日を変えて増員されたため、保護者・児童の相談の機会を充実させる。

### 3 学校について

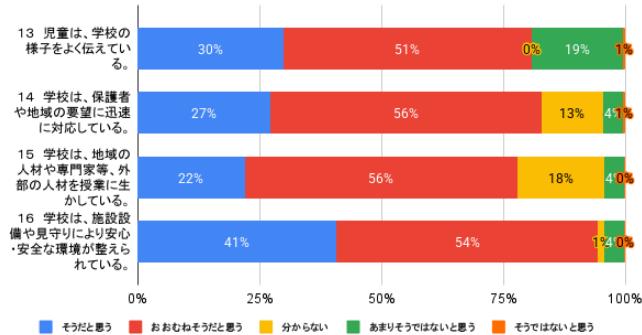
#### 令和7年度 保護者【学校について】



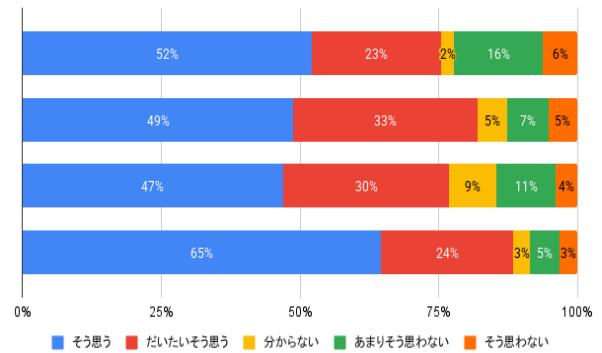
#### 令和7年度 児童【学校について】



#### 令和6年度 保護者【学校について】



#### 令和6年度 児童【学校について】



### 【結果】

○保護者については、どの項目も前年度と横ばいであるといえる。しかし、児童については「地域の人材や専門家等、外部の人材を授業に生かしている」と回答する割合が13%増えている。保護者についてはそれとは逆に「分からない」と回答する割合が6%増えている。また、外部の人材の活用に関しては「分からない」と回答する保護者が例年多い傾向が続いており、昨年度のアンケート結果でも同様であった。

## 【考察】

- 学校ホームページは、1月末現在、130回以上更新しているが、「学校便り」や「学校ホームページでの普段の様子」等を中心に、これからも学校の様子を伝えていく。
- ここ数年、外部講師や専門家を招待した授業を、授業公開の日を中心にはじめてきたが、常日頃から学校の様子が分かるわけではないため、「分からない」と答えた割合が、依然として高かったのではないかと推測できる。平日の学校公開の回数を1回増やしたこと、土曜日以外にも保護者の方が参観できるようにしたが、あまり効果があったとは言えないと考えられる。また、普段からも「開かれた学校づくり」の一環として授業の参観についての希望があれば、引き続き担任に連絡してほしい。来年度は対面による保護者会を2回から3回に増やす予定である。また、年3回の土曜授業プランと、各学期に1回ずつの計3回、平日学校公開日を実施する。
- 昨年度自由記述で多かった内容に「16番の項目について、門が常に開いていることが気になる」という意見があった。こちらは、リモート解錠鍵を設置したため、安心したという意見が多かった。また、4月より中山道と福寿通りの交差点に学童擁護員を増員して配置し、安全を一層強化する。